様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和７年 6月 13日

八王子市長　　殿



提出者
住　所　東京都中央区日本橋3-5-12
ニュ-八重州ビル５階

氏　名　中部土木株式会社　東京支店
支店長　今枝　龍司
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-6262-7501

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	Ｒ５国道２０号八王子南ＢＰ館地区改良その２２工事
事業場の所在地	東京都八王子市館町
計画期間	令和７年４月１日から令和８年３月３１日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	216,639,640円
③従業員数	10人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃アスファルト　→　破砕　→　再生利用 コンクリート片　→　破砕・選別　→　再生利用 廃プラスチック　→　破砕・選別　→　再生利用・埋め立て 汚泥　→　脱水　→　焼却　→　焼却灰を再生利用 木くず　→　破砕・選別　→　再生利用

（日本産業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

東京支店--------関東工事事務所所長---現場代理人-----監理技術者
（廃棄物処理統括責任者）　（廃棄物担当者）　（処理計画書作成担当者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	コンクリート片
排　出　量	74.60　t	244.40　t

（これまでに実施した取組）
施工計画段階において、設計・工法の検討を行い、発注者との事前調整を行う事で、発生量の抑制に取り組んだ。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	コンクリート片
排　出　量	44.76　t	146.64　t

（今後実施する予定の取組）
施工計画段階において、設計・工法の検討を行い、発注者との事前調整を行う事で、発生量の抑制に取り組む。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
コンクリート片、廃プラスチック、木くず等の分別解体の徹底

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
コンクリート片、廃プラスチック、木くず等の分別解体の徹底

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設汚泥	木くず	
排　出　量	1.60 t	726.00 t	4.49 t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設汚泥	木くず	
排　出　量	0.96 t	435.60 t	2.69 t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	コンクリート片
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	コンクリート片
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	コンクリート片
全処理委託量	74.60 t	244.40 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	74.60 t	244.40 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t

（これまでに実施した取組）
委託契約前にプラントの性能等の検討及び最終処分先までの確認を行い契約した。
また、施設状況の事前確認を行った。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設汚泥	木くず	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設汚泥	木くず	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設汚泥	木くず	
全処理委託量	1.60 t	726.00 t	4.49 t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	1.60 t	726.00 t	4.49 t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td>
【目標】
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>廃アスファルト</td><td>コンクリート片</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>44.76 t</td><td>146.64 t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>44.76 t</td><td>146.64 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
委託契約前にプラントの性能等の検討及び最終処分先までの確認を行い契約する。
また、施設状況の事前確認を行う。
さらに、産業廃棄物の種類に合わせ、再生利用が出来る業者の選定を行い、処理を委託する。
</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td></td></tr>
</table>

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設汚泥	木くず	
全処理委託量	0.96 t	435.60 t	2.69 t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	0.96 t	435.60 t	2.69 t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。